

## (1) 共通コアカリキュラムの作成趣旨

多くの小学校教員は学級担任として全教科の指導を担当する。そのため小学校教員養成課程では各教科の指導における共通性や固有性を理解することが必要である。しかし、ともすれば大学の養成課程で個別に開講される各教科の授業科目で扱われている学習項目には幅があり、教科によって教えたり教えなかったりする項目がでてくる可能性がある。そこで、各教科の指導法の中に、全教科に共通して含まれる学習項目を設定することで、履修する学生がどの授業科目を受講しても通教科的項目として意識でき、なおかつ学習できる枠組（共通コア）が必要であると考えた。

実際の共通コアは、『英語教育の英語力・指導力強化のための調査研究事業』（平成28年度報告書、東京学芸大学、平成29年3月20日）として報告されている小学校教員養成課程 外国語（英語）コア・カリキュラムの記述項目を基本として、各教科の特質を考慮しながら小学校教員養成課程において身に付けるべき各科指導法に関する学習項目を抽出し、それらを以下の2つの成果を参照しながら整理し作成した。

### 参照した資料

- 『教員の資質・能力及び養成段階の到達目標に関する研究』、平成25～26年度プロジェクト研究（教員養成等の改善に関する調査研究）報告書、2015。
- 『教職コアカリキュラム』、教職課程コアカリキュラムの在り方に関する検討会、2017。

## (1) 共通コアカリキュラム

【全体目標】		当該教科における教育目標、育成を目指す資質・能力及び指導内容について理解するとともに、児童の学習の実際や様々な学習指導方法に基づいた授業づくりの方法を身に付ける。		
【学習内容】	1 授業実践に必要な知識・理解	(1) 当該教科の教育目標や指導内容	一般目標	学習指導要領に示された当該教科の教育目標や指導内容を理解する。
			学習項目	①当該教科の意義と当該教科観の変遷 ②学習指導要領 ③教育目標、指導内容 ④当該教科の背景となっている関連諸学問や領域 ⑤社会の変化や児童の実態
			到達目標	1)当該教科の意義と当該教科観の変遷を理解している。 2)学習指導要領がもっている教育課程の基準としての性格並びに全体構造を理解している。 3)各校種等との連携を念頭に置き、学習指導要領における当該教科の教育目標、育もうとする資質・能力、指導内容を理解している。 4)当該教科の背景となる関連諸学問や領域との関連の理解に基づき指導内容を構造的に理解している。 5)当該教科の内容を指導する際に留意すべき点について理解している。
		(2) 児童及び学習の実際や	一般目標	当該教科における児童の学習の実際や特徴について理解するとともに、学習評価の在り方について理解する。
			学習項目	①児童の発達や学習 ②学習評価 ③個々の児童の理解と対応（他教科等との関連を含む）
			到達目標	1)当該教科における児童の学習の実際や特徴を理解している。 2)当該教科における評価の観点、学習評価の在り方について理解している。 3)児童理解に基づく適切な対応の仕方（他教科等との関連を含む）について理解している。
	2 授業実践	(1) 指導技術	一般目標	実践に必要な基本的な指導技術を身に付ける。
			学習項目	①ICT ②コミュニケーション技法 ③学習集団の組織 ④学習活動の構成（討論・ディベート・実習等）
			到達目標	1)当該教科の特徴に応じてICTを適切に活用することができる。 2)児童の発達や学習状況に応じた適切な表現を用い、対話することができる。 3)当該教科の学習の特徴に応じた適切な学習集団を組織することができる。 4)当該教科の学習の特徴に応じた適切な学習活動を構成することができる。
		(2) 授業づくり	一般目標	当該教科における基本的な指導方法を理解し、授業づくりの方法を身に付ける。
			学習項目	①教材研究 ②指導計画（学習指導案等） ③授業改善
			到達目標	1)当該教科の目的に応じた教材研究ができる。 2)学習到達目標に基づいた指導計画について理解し、学習指導案を作成することができる。 3)模擬授業の実施とその反省を通して、授業改善の視点を身に付けている。
【学習形態】		①授業観察：小学校の授業映像の視聴や授業の参観 ②模擬授業：1単位時間（45分）の授業あるいは特定の活動を取り出した模擬授業 ③講義（小集団でのディスカッションなどを含む） など		

(2) 各教科の指導法 [国語]

【全体目標】		小学校国語科における教育目標、育成を目指す資質・能力及び指導内容について理解するとともに、児童の学習の実際や様々な学習指導方法に基づいた授業づくりの方法を身に付ける。		
【学習内容】	1 授業実践に必要な知識・理解	(1) 小学校国語科の教育目標や指導内容	一般目標	小学校学習指導要領に示された小学校国語科の教育目標や指導内容を理解する。
			学習項目	①小学校国語科の意義と教科観の変遷 ②小学校学習指導要領（国語） ③小学校国語科の教育目標、育もうとする資質・能力、指導内容 ④小学校国語科の背景となっている関連諸学問や領域 ⑤言語・文化・社会の変化や児童の実態
			到達目標	1)小学校国語科の意義と教科観の変遷を理解している。 2)学習指導要領における小学校国語科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。 3)各校種等の連携を念頭に置き、学習指導要領における小学校国語科の教育目標、育もうとする資質・能力、指導内容を理解している。 4)小学校国語科の背景となる関連諸学問や領域（文学研究、日本語学、書道、コミュニケーション学など）との関連の理解に基づき指導内容を構造的に理解している。 5)小学校国語科の内容を指導する際に留意すべき、言語に関わる社会・文化の変化や児童の実態などの点について、基礎的な事柄を理解している。
		(2) 児童及び学習の実際や評価	一般目標	小学校国語科における児童の学習の実際や特徴について理解するとともに、学習評価の在り方について理解する。
			学習項目	①児童の発達や学習 ②学習評価 ③個々の児童の理解と対応（他教科等との関連を含む）
			到達目標	1)小学校国語科における児童の学習の実際や特徴を理解している。 2)小学校国語科における評価の観点、学習評価の在り方について理解している。 3)児童理解に基づく適切な対応の仕方（他教科等との関連を含む）について理解している。
	2 授業実践	(1) 指導技術	一般目標	小学校国語科の授業実践に必要な基本的な指導技術を身に付ける。
			学習項目	①小学校国語科の授業実践におけるICTの活用 ②小学校国語科の授業実践における言語活動や手立ての運用 ③小学校国語科の授業実践における学習集団の組織 ④小学校国語科の授業実践における学習活動の構成（討論・ディベート・実習等）
			到達目標	1)小学校国語科の特徴に応じて、授業実践においてICTを適切に活用することができる。 2)小学校国語科の授業実践において、児童の発達や学習状況に応じた適切な言語活動や手立てを用いることができる。 3)小学校国語科の授業実践において、学習の特徴に応じた適切な学習集団を組織することができる。 4)小学校国語科の授業実践において、学習の特徴に応じた適切な学習活動を構成することができる。
		(2) 授業づくり	一般目標	小学校国語科における基本的な指導方法を理解し、授業づくりの方法を身に付ける。
学習項目			①小学校国語科の各分野・領域に関する教材研究 ②小学校国語科の指導計画（学習指導案等） ③小学校国語科の授業改善	
到達目標			1)小学校国語科の目的に応じて、各分野・領域（「知識及び技能」、「理解力・判断力・表現力等」）の教材研究ができる。 2)学習到達目標に基づいた指導計画について理解し、学習指導案を作成することができる。 3)模擬授業の実施とその反省を通して、授業改善の視点を身に付けている。	
【学習形態】		①授業観察：小学校の授業映像の視聴や授業の参観 ②模擬授業：1単位時間（45分）の授業あるいは特定の活動を取り出した模擬授業 ③講義（小集団でのディスカッションなどを含む） など		

## (2) 各教科の指導法 [社会]

<b>【全体目標】</b>		小学校社会科における教育目標、育成を目指す資質・能力及び指導内容について理解するとともに、児童の学習の実際や様々な学習指導方法に基づいた授業づくりの方法を身に付ける。		
<b>【学習内容】</b>	1 授業実践に必要な知識・理解	(1) 小学校社会科の授業目標や指導内容	一般目標	学習指導要領に示された小学校社会科の教育目標や指導内容を理解する。
			学習項目	①小学校社会科の意義と教科観の変遷 ②学習指導要領 ③教育目標、指導内容 ④小学校社会科の背景となっている関連諸学問や領域 ⑤社会の変化や児童の実態
			到達目標	1)小学校社会科の意義と教科観の変遷を理解している。 2)学習指導要領がもっている教育課程の基準としての性格並びに全体構造を理解している。 3)各校種等との連携を念頭に置き、学習指導要領における小学校社会科の教育目標、育もうとする資質・能力、指導内容を理解している。 4)小学校社会科の背景となる関連諸学問や領域との関連の理解に基づき指導内容を構造的に理解している。 5)小学校社会科の内容を指導する際に留意すべき点について理解している。
		(2) 児童の学習及び学習評価	一般目標	小学校社会科における児童の学習の実際や特徴について理解するとともに、学習評価の在り方について理解する。
			学習項目	①児童の発達や学習 ②学習評価 ③個々の児童の理解と対応（他教科等との関連を含む）
			到達目標	1)小学校社会科における児童の発達の特徴を理解している。 2)小学校社会科における評価の観点、学習評価の在り方について理解している。 3)児童理解に基づく適切な対応の仕方（他教科等との関連を含む）について理解している。
	2 授業実践	(1) 指導技術	一般目標	実践に必要な基本的な指導技術を身に付ける。
			学習項目	①ICT ②コミュニケーション技法 ③学習集団の組織 ④学習活動の構成（討論・ディベート・実習等）
			到達目標	1)小学校社会科の特徴に応じてICTを適切に活用することができる。 2)児童の発達や学習状況に応じた適切な表現を用い、対話することができる。 3)小学校社会科の学習の特徴に応じた適切な学習集団を組織することができる。 4)小学校社会科の学習の特徴に応じた適切な学習活動を構成することができる。
		(2) 授業づくり	一般目標	小学校社会科における基本的な指導方法を理解し、授業づくりの方法を身に付ける。
学習項目			①教材研究 ②指導計画（学習指導案等） ③授業改善	
到達目標			1)小学校社会科の目的に応じた教材研究ができる。 2)学習到達目標に基づいた指導計画について理解し、学習指導案を作成することができる。 3)模擬授業の実施とその反省を通して、授業改善の視点を身に付けている。	
<b>【学習形態】</b>		①授業観察：小・中・高等学校の授業映像の視聴や授業の参観 ②模擬授業：1単位時間（45分）の授業あるいは特定の活動を取り出した模擬授業 ③講義（小グループでのディスカッションなどを含む） など		

## (2) 各教科の指導法 〔算数〕

<b>【全体目標】</b>		小学校算数科における教育目標，育成を目指す資質・能力及び指導内容について理解するとともに，児童の学習の実際や様々な学習指導方法に基づいた授業づくりの方法を身に付ける。		
<b>【学習内容】</b>	1 授業実践に必要な知識・理解	(1) 小学校算数科の授業目標や指導内容	一般目標	学習指導要領に示された小学校算数科の教育目標や指導内容を理解する。
			学習項目	①小学校算数科の意義と教科観の変遷 ②学習指導要領 ③教育目標，指導内容 ④小学校算数科の背景となっている関連諸学問や領域 ⑤社会の変化や児童の実態
			到達目標	1)小学校算数科の意義と教科観の変遷を理解している。 2)学習指導要領における小学校算数科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。 3)各校種等との連携を念頭に置き，学習指導要領における小学校算数科の教育目標，育もうとする資質・能力，指導内容を理解している。 4)小学校算数科の背景となる関連諸学問や領域との関連の理解に基づき指導内容を構造的に理解している。 5)小学校算数科の内容を指導する際に留意すべき点について理解している。
		(2) 児童の学習及び学習の実際や	一般目標	小学校算数科における児童の学習の実際や特徴について理解するとともに，学習評価の在り方について理解する。
			学習項目	①児童の発達や学習 ②学習評価 ③個々の児童の理解と対応（他教科等との関連を含む）
			到達目標	1)小学校算数科における児童の学習の実際や特徴を理解している。 2)小学校算数科における評価の観点，学習評価の在り方について理解している。 3)児童理解に基づく適切な対応の仕方（他教科等との関連を含む）について理解している。
	2 授業実践	(1) 指導技術	一般目標	小学校算数科の実践に必要な基本的な指導技術を身に付ける。
			学習項目	①ICT ②コミュニケーション技法 ③学習集団の組織 ④学習活動の構成（討論・ディベート・実習等）
			到達目標	1)小学校算数科の特徴に応じてICTを適切に活用することができる。 2)児童の発達や学習状況に応じた適切な表現を用い，対話することができる。 3)小学校算数科の学習の特徴に応じた適切な学習集団を組織することができる。 4)小学校算数科の学習の特徴に応じた適切な学習活動を構成することができる。
		(2) 授業づくり	一般目標	小学校算数科における基本的な指導方法を理解し，授業づくりの方法を身に付ける。
			学習項目	①教材研究 ②指導計画（学習指導案等） ③授業改善
			到達目標	1)小学校算数科の目的に応じた教材研究ができる。 2)学習到達目標に基づいた指導計画について理解し，学習指導案を作成することができる。 3)模擬授業の実施とその反省を通して，授業改善の視点を身に付けている。
<b>【学習形態】</b>		①授業観察：小・中・高等学校の授業映像の視聴や授業の参観 ②模擬授業：1単位時間（45分）の授業あるいは特定の活動を取り出した模擬授業 ③講義（小集団でのディスカッションなどを含む） など		



## (2) 各教科の指導法 [理科]

<b>【全体目標】</b>		小学校理科における教育目標、育成を目指す資質・能力及び指導内容について理解するとともに、児童の学習の実際や様々な学習指導方法に基づいた授業づくりの方法を身に付ける。		
<b>【学習内容】</b>	1 授業実践に必要な知識・理解	(1) 小学校理科の 授業目標や指導内容	一般目標	学習指導要領に示された小学校理科の教育目標や指導内容を理解する。
			学習項目	①小学校理科の意義と教科観の変遷 ②学習指導要領の位置付けと構造 ③教育目標、育成を目指す資質・能力、指導内容 ④小学校理科の背景となっている関連諸学問や領域 ⑤社会や生活環境の変化と児童の実態
			到達目標	1)小学校理科の意義と教科観の変遷を理解している。 2)学習指導要領がもっている教育課程の基準としての性格並びに全体構造を理解している。 3)各校種等との連携を念頭に置き、学習指導要領における理科の教育目標、育成を目指す資質・能力、指導内容を理解している。 4)小学校理科の背景となる関連諸学問や領域との関連の理解に基づき指導内容を構造的に理解している。 5)社会や生活環境の変化と児童の実態を踏まえ、小学校理科の内容を指導する際に留意すべき点について理解している。
		(2) 児童の学習の 特徴及び学習の 実際や	一般目標	小学校理科における児童の学習の実際や特徴について理解するとともに、学習評価の在り方について理解する。
			学習項目	①児童の発達や学習 ②学習評価 ③個々の児童の理解と対応（他教科等との関連を含む）
			到達目標	1)小学校理科における児童の学習の実際や特徴を理解している。 2)小学校理科における評価の観点、学習評価の在り方について理解している。 3)児童理解に基づく適切な対応の仕方（他教科等との関連を含む）について理解している。
	2 授業実践	(1) 指導技術	一般目標	小学校理科の授業実践に必要な基本的な指導技術を身に付ける。
			学習項目	①ICTの活用 ②コミュニケーション技法 ③学習集団の組織 ④学習活動の構成（観察・実験・討論・話し合い活動等）
			到達目標	1)小学校理科の特性に応じてICTを適切に活用することができる。 2)児童の発達や学習状況に応じた適切な表現を用い、対話することができる。 3)小学校理科の学習の特性に応じた適切な学習集団を組織することができる。 4)小学校理科の学習の特性に応じた適切な学習活動を構成することができる。
		(2) 授業づくり	一般目標	小学校理科における基本的な指導方法を理解し、授業づくりの方法を身に付ける。
学習項目			①教材研究 ②指導計画（学習指導案等） ③授業改善	
到達目標			1)小学校理科の目的と指導内容に応じた教材研究ができる。 2)学習到達目標に基づいた指導計画について理解し、学習指導案を作成することができる。 3)模擬授業の実施とその反省を通して、授業改善の視点と方法を身に付けている。	
<b>【学習形態】</b>		①授業観察：小学校の授業映像の視聴や授業の参観 ②模擬授業：1単位時間（45分）の授業あるいは特定の活動を取り出した模擬授業 ③講義（小集団でのディスカッションなどを含む） など		

## (2) 各教科の指導法 [生活]

<b>【全体目標】</b>		小学校生活科における教育目標，育成を目指す資質・能力及び指導内容について理解するとともに，児童の学習の実際や様々な学習指導方法に基づいた授業づくりの方法を身に付ける。		
<b>【学習内容】</b>	1 授業実践に必要な知識・理解	(1) 小学校生活科の 教育目標や指導内容	一般目標	学習指導要領に示された小学校生活科の教育目標や指導内容を理解する。
			学習項目	①小学校生活科の意義と教科観の変遷 ②学習指導要領 ③教育目標，指導内容 ④小学校生活科の背景となっている関連諸学問や領域 ⑤身近な環境及び社会の変化や児童の実態
			到達目標	1)小学校生活科の意義と教科観の変遷を理解している。 2)学習指導要領がもっている教育課程の基準としての性格並びに全体構造を理解している。 3)各校種等との連携を念頭に置き，学習指導要領における小学校生活科の教育目標，育成を目指す資質・能力，指導内容を理解している。 4)小学校生活科の背景となる関連諸学問や領域との関連の理解に基づき指導内容を構造的に理解している。 5)小学校生活科の内容を指導する際に留意すべき点について理解している。
		(2) 児童の学習の 特徴及び学習の 実際や学習評価	一般目標	小学校生活科における児童の学習の実際や特徴について理解するとともに，学習評価の在り方について理解する。
			学習項目	①児童の発達や学習 ②学習評価 ③個々の児童の理解と対応（他教科等との関連を含む）
			到達目標	1)小学校生活科の学習の実際や特徴を理解している。 2)小学校生活科における評価の観点，学習評価の在り方について理解している。 3)児童理解に基づく適切な対応の仕方（他教科等との関連を含む）について理解している。
	2 授業実践	(1) 指導技術	一般目標	実践に必要な基本的な指導技術を身に付ける。
			学習項目	①ICT ②コミュニケーション技法 ③学習集団の組織 ④学習活動の構成（体験・表現等）
			到達目標	1)小学校生活科の特徴に応じてICTを適切に活用することができる。 2)児童の発達や学習状況に応じた適切な表現を用い，対話することができる。 3)小学校生活科の学習の特徴に応じた適切な学習集団を組織することができる。 4)小学校生活科の学習の特徴に応じた適切な学習活動を構成することができる。
		(2) 授業づくり	一般目標	小学校生活科における基本的な指導方法を理解し，授業づくりの方法を身に付ける。
学習項目			①教材研究 ②指導計画（学習指導案等） ③授業改善	
到達目標			1)小学校生活科の目的に応じた教材研究ができる。 2)学習到達目標に基づいた指導計画について理解し，学習指導案を作成することができる。 3)模擬授業の実施とその反省を通して，授業改善の視点を身に付けている。	
<b>【学習形態】</b>		①授業観察：小学校の授業映像の視聴や授業の参観 ②模擬授業：1単位時間（45分）の授業あるいは特定の活動を取り出した模擬授業 ③講義（小集団でのディスカッションなどを含む） など		

## (2) 各教科の指導法 [音楽]

<b>【全体目標】</b>		小学校音楽科における目標、育成を目指す資質・能力及び指導内容について理解するとともに、児童の学習の実際や様々な学習の指導方法に基づいた授業づくりの方法を身に付ける。		
<b>【学習内容】</b>	1 授業実践に必要な知識・理解	(1) 小学校音楽科の授業目標や指導内容	一般目標	学習指導要領に示された小学校音楽科の目標や指導内容を理解する。
			学習項目	①小学校音楽科の意義と、教科観の変遷 ②小学校学習指導要領（音楽） ③目標、指導内容 ④小学校音楽科の背景となっている関連諸学問や領域 ⑤生活や社会の変化と児童の実態
			到達目標	1)小学校音楽科の意義と、教科観の変遷を理解している。 2)小学校音楽科の教育課程の全体構造を理解している。 3)各校種等との連携を念頭に置き、学習指導要領における小学校音楽科の目標、育成を目指す資質・能力、指導内容を理解している。 4)関連諸学問の理解に基づき、小学校音楽科の指導内容を構造的に理解している。 5)小学校音楽科の内容を指導する際に留意すべき、生活や社会の変化、児童の実態などについて理解している。
		(2) 児童の学習の実際や特徴及び学習の評価	一般目標	小学校音楽科における児童の学習の実際や特徴について理解するとともに、学習評価の在り方について理解する。
			学習項目	①児童の発達や学習 ②学習評価 ③個々の児童の理解と対応（他教科等との関連を含む）
			到達目標	1)小学校音楽科における児童の学習の実際や特性を理解している。 2)小学校音楽科における評価の観点、学習評価の在り方について理解している。 3)児童理解に基づく適切な対応の仕方（他教科等との関連を含む）について理解している。
	2 授業実践	(1) 指導技術	一般目標	小学校音楽科の授業実践に必要な指導方法を身に付ける。
			学習項目	①小学校音楽科における学習の特性に応じたICT等の活用 ②小学校音楽科における学習の特性に応じたコミュニケーション技法 ③小学校音楽科における学習の特性に応じた学習集団の組織 ④小学校音楽科における学習の特性に応じた学習活動の構成
			到達目標	1)小学校音楽科の学習の特性に応じて、授業においてICT等を適切に活用できる。 2)児童の発達や学習状況に応じた適切な表現を用い、対話することができる。 3)小学校音楽科の学習の特性に応じた適切な学習集団を組織することができる。 4)小学校音楽科の学習の特性に応じた適切な学習活動を構成することができる。
		(2) 授業づくり	一般目標	授業づくりの方法を身に付け、自ら授業改善に取り組むことができる。
学習項目			①教材研究 ②指導計画（学習指導案等） ③授業改善	
到達目標			1)目的に応じた教材研究ができる。 2)学習到達目標に基づいた指導計画について理解し、学習指導案を作成することができる。 3)模擬授業の実施とその反省を通して、授業改善の視点を身に付けている。	
<b>【学習形態】</b>		①授業観察：小学校の授業映像の視聴や授業の参観 ②模擬授業：1単位時間（45分）の授業あるいは特定の活動を取り出した模擬授業 ③講義（小グループでのディスカッションなどを含む） など		



## (2) 各教科の指導法 〔図画工作〕

<b>【全体目標】</b>		小学校図画工作科における教育目標、育成を目指す資質・能力及び指導内容について理解するとともに、児童の学習の実際や様々な学習指導方法に基づいた授業づくりの方法を身に付ける。		
<b>【学習内容】</b>	1 授業実践に必要な知識・理解	(1) 小学校図画工作科の指導内容	一般目標	学習指導要領に示された小学校図画工作科の教育目標や指導内容を理解する。
			学習項目	①小学校図画工作科の意義と教科観の変遷 ②学習指導要領 ③教育目標、指導内容 ④小学校図画工作科の背景となっている関連諸学問や領域 ⑤芸術・文化・社会の変化や児童の実態
			到達目標	1)小学校図画工作科の意義と教科観の変遷を理解している。 2)学習指導要領がもっている教育課程の基準としての性格並びに全体構造を理解している。 3)各校種等との連携を念頭に置き、学習指導要領における小学校図画工作科の教育目標、育もうとする資質・能力、指導内容を理解している。 4)小学校図画工作科の背景となる関連諸学問や領域との関連の理解に基づき指導内容を構造的に理解している。 5)小学校図画工作科の内容を指導する際に留意すべき点について理解している。
		(2) 児童の学習の実際や特徴及び学習評価	一般目標	小学校図画工作科における児童の学習の実際や特徴について理解するとともに、学習評価の在り方について理解する。
			学習項目	①児童の発達や学習 ②学習評価 ③個々の児童の理解と対応（他教科等との関連を含む）
			到達目標	1)小学校図画工作科における児童の学習の実際や特徴を理解している。 2)小学校図画工作科における評価の観点、学習評価の在り方について理解している。 3)児童理解に基づく適切な対応の仕方（他教科等との関連を含む）について理解している。
	2 授業実践	(1) 指導技術	一般目標	実践に必要な基本的な指導技術を身に付ける。
			学習項目	①ICTの活用 ②コミュニケーション技法 ③学習集団の組織 ④学習活動の構成（造形体験、製作活動、鑑賞活動、話し合い活動等）
			到達目標	1)小学校図画工作科の特徴に応じてICTを適切に活用することができる。 2)児童の発達や学習状況に応じた適切な表現を用い、対話することができる。 3)小学校図画工作科の学習の特徴に応じた適切な学習集団を組織することができる。 4)小学校図画工作科の学習の特徴に応じた適切な学習活動を構成することができる。
		(2) 授業づくり	一般目標	小学校図画工作科における基本的な指導方法を理解し、授業づくりの方法を身に付ける。
学習項目			①教材研究 ②指導計画（学習指導案等） ③授業改善	
到達目標			1)小学校図画工作科の目的に応じた教材研究ができる。 2)学習到達目標に基づいた指導計画について理解し、学習指導案を作成することができる。 3)模擬授業の実施とその反省を通して、授業改善の視点を身に付けている。	
<b>【学習形態】</b>		①授業観察：小学校の授業映像の視聴や授業の参観 ②模擬授業：1単位時間（45分）の授業あるいは特定の活動を取り出した模擬授業 ③講義（小集団でのディスカッションなどを含む） など		

## (2) 各教科の指導法〔家庭〕

<b>【全体目標】</b>		小学校家庭科における教育目標，育成を目指す資質・能力及び指導内容について理解するとともに，児童の学習の実際や様々な学習指導方法に基づいた授業づくりの方法を身に付ける。		
<b>【学習内容】</b>	1 授業実践に必要な知識・理解	(1) 小学校家庭科の 教育目標や指導内容	一般目標	学習指導要領に示された小学校家庭科の教育目標や指導内容を理解する。
			学習項目	①小学校家庭科の意義と教科観の変遷 ②学習指導要領 ③教育目標，指導内容 ④小学校家庭科の背景となっている関連諸学問や領域 ⑤生活環境の変化や児童の実態
			到達目標	1)小学校家庭科の意義と教科観の変遷を理解している。 2)学習指導要領における小学校家庭科の目標及び内容並びに全体構造を理解している。 3)各校種等との連携を念頭に置き，学習指導要領における小学校家庭科の教育目標，育成を目指す資質・能力，指導内容を理解している。 4)小学校家庭科の背景となる関連諸学問や領域との関連の理解に基づき指導内容を構造的に理解している。 5)生活環境の変化や児童の実態を踏まえ，小学校家庭科の内容を指導する際に留意すべき点について理解している。
		(2) 児童の学習の 特徴及び学習 評価	一般目標	小学校家庭科における児童の学習の実際や特徴について理解するとともに，学習評価の在り方について理解する。
			学習項目	①児童の発達や学習 ②学習評価 ③個々の児童の理解と対応（他教科等との関連を含む）
			到達目標	1)小学校家庭科における児童の発達や生活経験など多様性に応じた学習の実際や特徴を理解している。 2)小学校家庭科における評価の観点，学習評価の在り方について理解している。 3)児童理解に基づく適切な対応の仕方（他教科等との関連を含む）について理解している。
	2 授業実践	(1) 指導技術	一般目標	小学校家庭科の実践に必要な基本的な指導技術を身に付ける。
			学習項目	①ICTなどの活用の仕方 ②コミュニケーション技法 ③学習集団の組織 ④学習活動の構成（討論・ディベート・実習等）
			到達目標	1)小学校家庭科の特徴に応じてICTを適切に活用することができる。 2)児童の発達や学習状況に応じた適切な表現を用い，対話することができる。 3)小学校家庭科の学習の特徴に応じた適切な学習集団を組織することができる。 4)小学校家庭科の学習の特徴に応じた適切な学習活動を構成することができる。
		(2) 授業づくり	一般目標	小学校家庭科における基本的な指導方法を理解し，授業づくりの方法を身に付ける。
学習項目			①教材研究 ②指導計画（学習指導案等） ③授業改善	
到達目標			1)小学校家庭科の目的に応じた教材研究ができる。 2)学習到達目標に基づいた指導計画について理解し，学習指導案を作成することができる。 3)模擬授業の実施とその反省を通して，授業改善の視点を身に付けている。	
<b>【学習形態】</b>		①授業観察：小学校の授業映像の視聴や授業の参観 ②模擬授業：1単位時間（45分）の授業あるいは特定の活動を取り出した模擬授業 ③講義（小集団でのディスカッションなどを含む） など		

## (2) 各教科の指導法〔体育〕

<b>【全体目標】</b>		小学校体育科における教育目標、育成を目指す資質・能力及び指導内容について理解するとともに、児童の学習の実際や様々な学習指導方法に基づいた授業づくりの方法を身に付ける。		
<b>【学習内容】</b>	1 授業実践に必要な知識・理解	(1) 小学校体育科の教育目標や指導内容	一般目標	学習指導要領に示された小学校体育科の教育目標や指導内容を理解する。
			学習項目	①小学校体育科の意義と教科観の変遷 ②学習指導要領 ③教育目標、指導内容 ④小学校体育科の背景となっている関連諸学問や領域 ⑤社会の変化や児童の実態
			到達目標	1)小学校体育科の意義と教科観の変遷を理解している。 2)学習指導要領がもっている教育課程の基準としての性格並びに全体構造を理解している。 3)各校種等との連携を念頭に置き、学習指導要領における小学校体育科の教育目標、育もうとする資質・能力、指導内容を理解している。 4)小学校体育科の背景となる関連諸学問や領域との関連の理解に基づき指導内容を構造的に理解している。 5)小学校体育科の内容を指導する際に留意すべき点について理解している。
		(2) 児童の学習の実際や特徴及び学習評価	一般目標	小学校体育科における児童の学習の実際や特徴について理解するとともに、学習評価の在り方について理解する。
			学習項目	①児童の発達や学習 ②学習評価 ③個々の児童の理解と対応（他教科等との関連を含む）
			到達目標	1)小学校体育科における児童の学習の実際や特徴を理解している。 2)小学校体育科における評価の観点、学習評価の在り方について理解している。 3)児童理解に基づく適切な対応の仕方（他教科等との関連を含む）について理解している。
	2 授業実践	(1) 指導技術	一般目標	実践に必要な基本的な指導技術を身に付ける。
			学習項目	①ICT ②コミュニケーション技法 ③学習集団の組織 ④学習活動の構成（練習・示範・観察・話し合い等）
			到達目標	1)小学校体育科の特徴に応じてICTを適切に活用することができる。 2)児童の発達や学習状況に応じた適切な表現を用い、対話することができる。 3)小学校体育科の学習の特徴に応じた適切な学習集団を組織することができる。 4)小学校体育科の学習の特徴に応じた適切な学習活動を構成することができる。
		(2) 授業づくり	一般目標	小学校体育科における基本的な指導方法を理解し、授業づくりの方法を身に付ける。
学習項目			①教材研究 ②指導計画（学習指導案等） ③授業改善	
到達目標			1)小学校体育科の目的に応じた教材研究ができる。 2)学習到達目標に基づいた指導計画について理解し、学習指導案を作成することができる。 3)模擬授業の実施とその反省を通して、授業改善の視点を身に付けている。	
<b>【学習形態】</b>		①授業観察：小学校の授業映像の視聴や授業の参観 ②模擬授業：1単位時間（45分）の授業あるいは特定の活動を取り出した模擬授業 ③講義（小グループでのディスカッションなどを含む） など		

### (3) 教科に関する専門的事項 〔国語〕

<b>【全体目標】</b>		小学校における国語科の教材分析や授業実践に必要な言葉による見方・考え方及び言語感覚と国語科に関する背景的な知識及び技能とを身に付ける。		
<b>【学習内容】</b>	1 「教材分析や授業実践に必要な言葉の扱い方」 「我が国の言語文化に関する知識及び技能」	(1) 「言葉の扱い方」	一般目標	小学校における国語科の教材分析や授業実践に必要な言葉による見方・考え方及び言語感覚を身に付ける。
		「我が国の言語文化」	学習項目	①言葉による見方・考え方 ②言語感覚
		「我が国の言語文化」	到達目標	1)教材分析や授業実践に必要な言葉による見方・考え方を身に付けている。 2)教材分析や授業実践に必要な言語感覚を身に付けている。
	「我が国の言語文化」	(2) 「言葉の特徴や使い方」	一般目標	幼・小・中学校の接続を踏まえながら、小学校における国語科の教材分析や授業実践に必要な「言葉の特徴や使い方」「情報の扱い方」「我が国の言語文化」に関する背景的な知識や技能を、授業場面を意識しながら身に付ける。
	「我が国の言語文化」	「我が国の言語文化」	学習項目	①言葉の働き、国語の文法、国語の語彙、国語の表記（「言葉の特徴や使い方」） ②言葉遣い、国語の表現技法、音読・朗読（「言葉の特徴や使い方」） ③国語の文字（「言葉の特徴や使い方」） ④情報と情報の関係、情報の整理（「情報の扱い方」） ⑤伝統的な言語文化、言葉の由来や変化、読書（「我が国の言語文化」） ⑥書写（「我が国の言語文化」）
	「我が国の言語文化」	「我が国の言語文化」	到達目標	1)教材分析や授業実践に必要な、言葉の働き、国語の文法、国語の語彙、国語の表記などに関する知識や技能を身に付けている。（「言葉の特徴や使い方」） 2)教材分析や授業実践に必要な、言葉遣い、国語の表現技法、音読・朗読などに関する知識や技能を身に付けている。（「言葉の特徴や使い方」） 3)教材分析や授業実践に必要な、国語の文字に関する知識及び技能を身に付けている。（「言葉の特徴や使い方」） 4)教材分析や授業実践に必要な、情報と情報の関係（論理）、情報の整理（比較、分類、引用、出典、図示等）などに関する知識や技能を身に付けている。（「情報の扱い方」） 5)教材分析や授業実践に必要な、伝統的な言語文化、言葉の由来や変化、読書などに関する知識や技能を身に付けている。（「我が国の言語文化」） 6)教材分析や授業実践に必要な、書写に関する知識や技能を身に付けている。（「我が国の言語文化」）

### (3) 教科に関する専門的事項 〔社会〕

<b>【全体目標】</b>		小学校における社会科の授業実践に必要な公民としての資質・能力を育成する能力と、社会諸科学に関する背景的な知識と技能を身に付ける。		
<b>【学習内容】</b>	1 授業実践に必要な公民としての資質・能力を育成する能力と	(1) 授業実践に必要な公民としての育成する能力	一般目標	小学校における社会科の授業を担当するために必要な公民としての資質・能力を育成する能力を、授業場面を意識しながら身に付ける。
			学習項目	①社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えること ②社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断すること ③社会的事象について、選択・判断したことを適切に表現すること ④社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする事
			到達目標	1)授業実践に必要な社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力を身に付けている。 2)授業実践に必要な社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力を身に付けている。 3)授業実践に必要な社会的事象について、選択・判断したことを適切に表現する力を身に付けている。 4)授業実践に必要な社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする力を身に付けている。
	社会諸科学に関する背景的な知識と技能	(2) 社会諸科学に関する背景的な知識と技能	一般目標	幼・小・中学校の接続を踏まえながら、小学校における社会科の授業を担当するために必要な背景的な知識と技能を身に付ける。
			学習項目	①地域や我が国の国土の地理的環境に関する基本的な知識 ②現代社会の仕組みや働きに関する基本的な知識 ③地域や我が国の歴史や伝統と文化を通じた社会生活に関する基本的な知識 ④様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能
			到達目標	1)地域や我が国の国土の地理的環境に関する基本的な事柄について理解している。 2)現代社会の仕組みや働きに関する基本的な事柄について理解している。 3)地域や我が国の歴史や伝統と文化を通じた社会生活に関する基本的な事柄について理解している。 4)様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能に関する事柄について理解している。



### (3) 教科に関する専門的事項 〔算数〕

<b>【全体目標】</b>		小学校における算数科の授業実践に必要な実践的な数理運用力と算数科に関する背景的な知識を身に付ける。		
<b>【学習内容】</b>	1 授業実践に必要な数理運用力と知識	(1) 授業実践に必要な数理運用力	一般目標	小学校における算数科の授業を担当するために必要な実践的な数理運用力を、授業場面を意識しながら身に付ける。
			学習項目	①数と計算 ②図形 ③測定 ④変化と関係 ⑤データの活用
			到達目標	1)数とその表現や計算の意味と方法などを考察する力を身に付けている。 2)図形の性質や図形の計量について考察する力を身に付けている。 3)量に着目してものごとの特徴を的確に表現する力を身に付けている。 4)伴って変わる二つの数量の関係を考察する力を身に付けている。 5)目的に応じて統計的な問題解決をする力を身に付けている。
	(2) 算数科に関する背景的な知識	一般目標	幼・小・中学校の接続を踏まえながら、小学校における算数科の授業を担当するために必要な背景的な知識を身に付ける。	
		学習項目	①小学校における算数科の学習内容に関わる数学に関する基本的な知識 ②数学的な見方・考え方 ③数学的な探求の方法や過程	
		到達目標	1)小学校における算数科の学習内容に関わる数学に関する基本的な知識を身に付けている。 2)数学的な見方・考え方について理解している。 3)様々な現象を数学的に探求する方法や過程について理解している。	

### (3) 教科に関する専門的事項 〔理科〕

<b>【全体目標】</b>		小学校における理科の授業実践に必要な科学的探究力と理科に関する背景的な知識を身に付ける。		
<b>【学習内容】</b>	1 授業実践に必要な科学的探究力と知識	(1) 授業実践に必要な科学的探究力	一般目標	小学校における理科の授業を担当するために必要な科学的探究力を、授業場面を意識しながら身に付ける。
			学習項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>①科学的な探究の方法・プロセス</li> <li>②「物質・エネルギー」の学習内容に関わる観察・実験</li> <li>③「生命・地球」の学習内容に関わる観察・実験</li> <li>④観察・実験に関する安全指導</li> </ul>
			到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>1)科学的な探究の方法やプロセスを理解し、実践できる。</li> <li>2)「物質・エネルギー」の学習内容に関わる観察・実験の内容や方法を理解し、授業で実践できる力を身に付けている。</li> <li>3)「生命・地球」の学習内容に関わる観察・実験の内容や方法を理解し、授業で実践できる力を身に付けている。</li> <li>4)観察・実験に関する安全指導及び薬品管理について理解し、実践できる力を身に付けている。</li> </ul>
		(2) 理科に関する背景的な知識	一般目標	幼・小・中学校の接続を踏まえながら、小学校における理科の授業を担当するために必要な科学的知識を身に付ける。
			学習項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「物質・エネルギー」の学習内容の背景となる基本的な科学的知識</li> <li>②「生命・地球」の学習内容の背景となる基本的な科学的知識</li> </ul>
			到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>1)「物質・エネルギー」の学習内容の背景となる基本的な科学的知識を理解している。</li> <li>2)「生命・地球」の学習内容の背景となる基本的な科学的知識を理解している。</li> </ul>

### (3) 教科に関する専門的事項 [生活]

【全体目標】		小学校における生活科の授業実践に必要な資質・能力と、生活科に関する背景 的な知識と技能を身に付ける。		
【学 習 内 容】	1 授 業 実 践 に 必 要 な 資 質 ・ 能 力 と 知 識 と 技 能	(1) 授 業 実 践 に 必 要 な 資 質 ・ 能 力	一般目標	小学校生活科の授業を担当するために必要な資質・能力を、授業場 面を意識しながら身に付ける。
			学習項目	①児童の具体的な活動や体験を構成する力 ②児童が「身近な人々、社会及び自然」を児童自身との関わりで捉 えることに関する知識 ③児童が「自立し生活を豊かにしていく」過程を理解し、支援する力
			到達目標	1)授業実践として、具体的な活動や体験を構成する力を身に付けて いる。 2)授業実践において、「身近な人々、社会及び自然」を児童との関わり という視点で一体的に捉えることができる。 3)授業実践において、一人一人の児童が思いや願いを実現しながら「自 立し生活を豊かにしていく」過程を理解し、支援することができる。
	(2) 生 活 科 に 関 す る 背 景 的 な 知 識 と 技 能	一般目標	「幼児期の教育及び小学校中学年以降の教育との接続」も踏まえなが ら、小学校生活科の授業を担当するために必要な背景的な知識と技能 を身に付ける。	
		学習項目	①「合科的・関連的な指導」や「学校段階等間の接続」に関する基本 的な知識 ②「身近な人々、社会及び自然」に関する基本的な知識 ③「自分自身の生活や成長」に関する基本的な知識 ④健康・安全に留意しながら活動や体験を構成するための基本的な知 識や技能	
		到達目標	1)「合科的・関連的な指導」や「学校段階等間の接続」に関する基本 的な知識について理解している。 2)「身近な人々、社会及び自然」に関する基本的な知識について理解 している。 3)「自分自身の生活や成長」に関する基本的な知識について理解して いる。 4)健康・安全に留意しながら活動や体験を構成するための基本的な知 識や技能について理解し、実践することができる。	

### (3) 教科に関する専門的事項 [音楽]

【全体目標】		小学校における音楽科の授業実践に必要な、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成する能力と、音楽科に関する背景的な知識・技能を身に付ける。	
【学習内容】	1 授業実践に必要な音楽的能力と音楽科に関する背景的な知識・技能	(1) 授業実践に必要な音楽的能力	<p>一般目標</p> <p>小学校における音楽科の授業を担当するために必要な、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成する能力を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p> <p>学習項目</p> <p>①曲想と音楽の構造などとの関わりについての理解と、表したい音楽表現をするために必要な技能の習得を促す力 ②音楽表現を工夫したり、音楽を味わって聴いたりすることを促す力 ③音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培うことを目指し、音楽活動の楽しさの体験を促す力</p> <p>到達目標</p> <p>1)曲想と音楽の構造などとの関わりについての理解と、表したい音楽表現をするために必要な技能の習得を促す力を身に付けている。 2)音楽表現を工夫したり、音楽を味わって聴いたりすることを促す力を身に付けている。 3)音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培うことを目指し、音楽活動の楽しさの体験を促す力を身に付けている。</p>
		(2) 音楽科に関する背景的な知識・技能	<p>一般目標</p> <p>幼・小・中学校の接続を踏まえながら、小学校音楽科の授業を担当するために必要な背景的な知識・技能を身に付ける。</p> <p>学習項目</p> <p>①音楽表現に関する知識・技能 ②鑑賞に関する知識 ③〔共通事項〕に関連する知識 ④我が国や諸外国の音楽に関する知識・技能</p> <p>到達目標</p> <p>1)音楽表現に関する知識・技能を身に付けている。 2)鑑賞に関する知識を身に付けている。 3)〔共通事項〕に関連する知識を身に付けている。 4)我が国や諸外国の音楽に関する知識・技能を身に付けている。</p>

### (3) 教科に関する専門的事項 〔図画工作〕

【全体目標】		小学校における図画工作科の授業実践に必要な造形的能力と図画工作科に関する背景的な知識と技能を身に付ける。		
【学習内容】	1 図画工作科の授業実践に必要な造形的能力と図画工作科に関する背景的な知識と技能	(1) 授業実践に必要な造形的能力	一般目標	小学校における図画工作科の授業を担当するために必要な造形的能力を、授業場面を意識しながら身に付ける。
			学習項目	①対象や事象を捉える造形的な視点について理解できる力 ②材料や用具を使い、創造的に発想や構想をしたり、表現したりできる力 ③作品や生活の中の造形などに対して自分の見方や感じ方を深められる力 ④図画工作科の学習内容を生活や社会と関連づけられる力
			到達目標	1)授業実践に必要な、対象や事象を捉える造形的な視点について理解できる力を身に付けている。 2)授業実践に必要な、材料や用具を使い、創造的に発想や構想をしたり、表現したりできる力を身に付けている。 3)授業実践に必要な、作品や生活の中の造形などに対して自分の見方や感じ方を深められる力を身に付けている。 4)授業実践に必要な、図画工作科の学習内容を生活や社会と関連づけられる力を身に付けている。
		(2) 図画工作科に関する背景的な知識と技能	一般目標	幼・小・中学校の接続を踏まえながら、小学校における図画工作科の授業を担当するために必要な背景的な知識と技能を身に付ける。
			学習項目	①造形遊び ②絵や立体、工作 ③鑑賞 ④共通事項
			到達目標	1)造形遊びに関する基礎的な知識と技能を身に付けている。 2)絵や立体、工作に関する基礎的な知識と技能を身に付けている。 3)鑑賞に関する基礎的な知識と方法を身に付けている。 4)共通事項に関する基礎的な知識を身に付けている。



### (3) 教科に関する専門的事項 〔家庭〕

<b>【全体目標】</b>		小学校における家庭科の授業実践に必要な生活を創意工夫する力と、小学校家庭科に関する背景的な知識・技能を身に付ける。		
<b>【学習内容】</b>	1 授業実践に必要な生活を創意工夫する力と知識・技能	(1) 授業実践に必要な生活を創意工夫する力	一般目標	小学校における家庭科の授業を担当するために必要な生活を創意工夫する資質・能力を、授業場面を意識しながら身に付ける。
			学習項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>①知識や技術の生活の中での活用</li> <li>②生活の中の問題の発見と、解決すべき課題についての多角的検討、および解決策の構想</li> <li>③より良い生活に向けての解決策の実践と、その結果の省察</li> <li>④異なる他者との意見交流や、より良い生活についての考察、評価・改善</li> </ul>
			到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>1)授業実践に必要な知識や技術を生活の中で活用する力を身に付けている。</li> <li>2)授業実践に必要な生活の中から問題を見出だし、解決すべき課題について多角的に捉え、解決策を構想する力を身に付けている。</li> <li>3)授業実践に必要なより良い生活に向けて解決策を実践し、その結果を省察する力を身に付けている。</li> <li>4)授業実践に必要な異なる他者と意見交流し、より良い生活について考え、評価・改善する力を身に付けている。</li> </ul>
		(2) 小学校家庭科に関する背景的な知識・技能	一般目標	幼・小・中学校の接続を踏まえながら、小学校における家庭科の授業を担当するために必要な背景的な知識・技能を身に付ける。
			学習項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生活の営みを捉える視点に関する知識</li> <li>②家族・家庭生活に関する知識・技能</li> <li>③衣食住の生活に関する知識・技能</li> <li>④消費生活・環境に配慮した生活に関する知識・技能</li> </ul>
			到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>1)授業実践に必要な生活の営みを捉える視点に関する知識を身に付けている。</li> <li>2)授業実践に必要な家族・家庭生活に関する知識・技能を身に付けている。</li> <li>3)授業実践に必要な衣食住の生活に関する知識・技能を身に付けている。</li> <li>4)授業実践に必要な消費生活・環境に配慮した生活に関する知識・技能を身に付けている。</li> </ul>

(3) 教科に関する専門的事項 [体育]

【全体目標】		小学校における体育科の授業実践に必要な、心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する能力と、各種の運動と健康・安全に関する背景的な知識と技能を身に付ける。		
【学習内容】	1 授業実践に必要な心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフと各種の運動と健康・安全に関する知識と技能	(1) スポーツ実践に必要な心身の健康を保持増進し豊かな資質・能力を育成する力	一般目標	小学校における体育科の授業を担当するために必要な、心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する力を、授業場面を意識しながら身に付ける。
			学習項目	①各領域の運動の特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全についての知識 ②各領域の運動の特性に応じた各種の運動の基本的な動きや技能 ③運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力 ④運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度
			到達目標	1)授業実践に必要な各領域の運動の特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解する力を育成する力を身に付けている。 2)授業実践に必要な各領域の運動の特性に応じた各種の運動の基本的な動きや技能を育成する力を身に付けている。 3)授業実践に必要な運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を育成する力を身に付けている。 4)授業実践に必要な運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を育成する力を身に付けている。
		(2) 各種の運動と健康・安全に関する知識及び技能	一般目標	幼・小・中学校の接続を踏まえながら、小学校における体育科の授業を担当するために必要な知識と技能を身に付ける。
			学習項目	①低学年における各種の運動に関する基本的な知識及び動き（体づくりの運動遊び、器械・器具を使つての運動遊び、走・跳の運動遊び、水遊び、ゲーム、表現リズム遊び等） ②中・高学年における各種の運動に関する基本的な知識及び動きや技能（体づくり運動、器械運動、走・跳の運動及び陸上運動、水泳運動、ゲームとボール運動、表現運動等） ③健康・安全に関する基本的な知識及び技能（健康な生活、体の発育・発達、心の健康等） ④健康・安全に関する基本的な知識及び技能（けがの防止、病気の予防等）
			到達目標	1)低学年における各種の運動に関する基本的な知識及び動き（体づくりの運動遊び、器械・器具を使つての運動遊び、走・跳の運動遊び、水遊び、ゲーム、表現リズム遊び等）について理解し身に付けている。 2)中・高学年における各種の運動に関する基本的な知識及び動きや技能（体づくり運動、器械運動、走・跳の運動及び陸上運動、水泳運動、ゲームとボール運動、表現運動等）について理解し身に付けている。 3)健康・安全に関する基本的な知識及び技能（健康な生活、体の発育・発達、心の健康等）について理解し身に付けている。 4)健康・安全に関する基本的な知識及び技能（けがの防止、病気の予防等）について理解し身に付けている。

#### (4) 小学校教員養成課程 国語コースで扱う項目案

【全体目標】	小学校国語科の授業を实践するためのより高い指導力を身に付ける。
1 専門的な 知識や 技能	<p>学習項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①文学についての知識</li> <li>②論理についての知識</li> <li>③毛筆による書写についての知識及び技能</li> <li>④コミュニケーションについての知識及び技能</li> <li>⑤国語教育史の知識</li> <li>⑥読字障害・書字障害の児童についての知識</li> <li>⑦メディアリテラシーについての知識</li> </ul>
2 専門的な 指導 技術	<p>学習項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ICTを使用する指導技術</li> <li>②「伝統的な言語文化」の指導技術</li> <li>③毛筆による書写の指導技術</li> </ul>

#### (4) 小学校教員養成課程 社会コースで扱う項目案

【全体目標】	小学校社会科の授業を实践するためのより高い指導力を身に付ける。
1 専 門 的 な 知 識	<p>学習項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①社会認識教育理論についての知識</li> <li>②社会諸科学についての知識</li> <li>③社会認識教授法についての知識</li> <li>④カリキュラムについての知識</li> <li>⑤教材についての知識</li> <li>⑥市民性教育論・主権者教育論</li> </ul>
2 専 門 的 な 指 導 技 術	<p>学習項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①読図・作図の指導</li> <li>②史料解釈の指導</li> <li>③統計資料の読解と作成の指導</li> <li>④その他資料の読解と作成の指導</li> </ul>

#### (4) 小学校教員養成課程 算数コースで扱う項目案

【全体目標】	小学校における算数科の授業を実践するためのより高い指導力を身に付ける。
1 専 門 的 な 知 識	<p>学習項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①数学の各分野・領域についての知識</li> <li>②数学的推論についての知識</li> <li>③数学的な表現様式及びその変換に関する知識及び技能</li> <li>④数学教育史の知識</li> <li>⑤数学史の知識</li> </ul>
2 専 門 的 な 指 導 技 術	<p>学習項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① I C T 及び数学的教具を活用する指導技術</li> <li>② 授業における児童の多様な考えを活かす指導技術</li> <li>③ 問題を発展的に扱う指導技術</li> </ul>



#### (4) 小学校教員養成課程 理科コースで扱う項目案

【全体目標】	小学校における理科の授業を実践するためのより高い指導力を身に付ける。
1 専 門 的 な 知 識	<p>学習項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①理科教育に関する理論についての知識</li> <li>②理科に関係する専門諸科学についての知識</li> <li>③理科に隣接する複合領域（環境教育や健康教育など）についての知識</li> <li>④理科教授法に関する知識</li> <li>⑤カリキュラムについての知識</li> <li>⑥理科教育史の知識</li> </ul>
2 専 門 的 な 指 導 技 術	<p>学習項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①理科の教材・教具及びICTを活用する指導技術</li> <li>②授業における児童の多様な考えを活かす指導技術</li> <li>③問題を発展的に扱う指導技術</li> </ul>

#### (4) 小学校教員養成課程 生活コースで扱う項目案

【全体目標】	小学校生活科の授業を実践するためのより高い指導力を身に付ける。
1 専 門 的 な 知 識	<p>学習項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①生活科教育に関する理論についての知識</li> <li>②児童の発達段階についての知識</li> <li>③体験的、総合的なカリキュラムについての知識</li> <li>④生活科の指導内容に関する知識</li> <li>⑤生活科で使用される学習材についての知識</li> </ul>
2 専 門 的 な 指 導 技 術	<p>学習項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①具体的な活動や体験における基本的な生活習慣や健康・安全に関する指導技術</li> <li>②小学校生活科における適切なICTの活用に関する指導技術</li> <li>③学習場面における多様な児童の理解と指導の技術</li> </ul>

#### (4) 小学校教員養成課程 音楽コースで扱う項目案

【全体目標】	音楽科の授業を実践するためのより高い指導力を身に付ける。
1 専 門 的 な 知 識 ・ 技 能	<p>学習項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①音楽教育理論についての知識</li> <li>②声楽（合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。）についての知識・技能</li> <li>③器楽（合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。）についての知識・技能</li> <li>④指揮法についての知識・技能</li> <li>⑤音楽理論、作曲法（編曲法を含む。）及び音楽史（我が国及び諸外国の様々な音楽を含む。）</li> <li>⑥音楽鑑賞，音楽文化にかかわる知識</li> <li>⑦カリキュラムについての知識</li> <li>⑧教材についての知識</li> </ul>
2 専 門 的 な 指 導 技 術	<p>学習項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①歌唱分野の指導</li> <li>②器楽分野の指導</li> <li>③音楽づくり分野の指導</li> <li>④鑑賞領域の指導</li> </ul>

#### (4) 小学校教員養成課程 図画工作コースで扱う項目案

【全体目標】	小学校図画工作科の授業を实践するためのより高い指導力を身に付ける。
1 専 門 的 な 知 識 ・ 技 能	<p>学習項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 美術教育理論についての知識</li> <li>② 美術表現（絵画，版画，彫塑，立体造形，デザイン，工芸等）についての知識・技能</li> <li>③ 社会におけるアート・プロジェクト，ワークショップ等の芸術活動についての知識・技能</li> <li>④ 美術理論，美術史，美学等の芸術諸学についての知識</li> <li>⑤ カリキュラムについての知識</li> <li>⑥ 教材についての知識</li> </ul>
2 専 門 的 な 指 導 技 術	<p>学習項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 絵画，版画的指導</li> <li>② 彫塑，立体の指導</li> <li>③ デザイン，工芸の指導</li> <li>④ 美術鑑賞の指導</li> </ul>

#### (4) 小学校教員養成課程 家庭コースで扱う項目案

【全体目標】	小学校家庭科の授業を实践するためのより高い指導力を身に付ける。
1 専門的 な 知識	<p>学習項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①家庭科教育理論についての知識</li> <li>②生活に係る専門科学についての知識</li> <li>③家庭科教育教授法についての知識</li> <li>④カリキュラムについての知識</li> <li>⑤教材についての知識</li> </ul>
2 専門的 な 指導 技術	<p>学習項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①家族・家庭生活に係る指導技術</li> <li>②衣生活に係る指導技術</li> <li>③食生活に係る指導技術</li> <li>④住生活に係る指導技術</li> <li>⑤消費生活に係る指導技術</li> <li>⑥環境に配慮した生活に係る指導技術</li> <li>⑦生活の営みを捉える視点に係る指導技術</li> </ul>



#### (4) 小学校教員養成課程 体育コースで扱う項目案

【全体目標】	小学校体育科の授業を实践するためのより高い指導力を身に付ける。
1 専門的 な 知識	<p>学習項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①体育教育理論, 保健教育理論についての知識</li> <li>②体育・スポーツ・保健に関する専門科学についての知識</li> <li>③体育教育教授法, 保健教育教授法についての知識</li> <li>④カリキュラムについての知識</li> <li>⑤教材についての知識</li> <li>⑥運動指導論</li> </ul>
2 専門的 な 指導 技術	<p>学習項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①体づくり運動系の指導</li> <li>②器械運動系の指導</li> <li>③陸上運動系の指導</li> <li>④水泳運動系の指導</li> <li>⑤ボール運動系の指導</li> <li>⑥表現運動系の指導</li> <li>⑦健康・安全の指導</li> </ul>

